

海陽町観光施設のあり方検討委員会

資料1

1. 設置目的

海陽町の魅力ある観光振興に向けて観光施設の適正な規模や運営方法のあり方について必要な事項の調査及び審議を行うため、「海陽町観光施設のあり方検討委員会（以下「委員会」という。）」を置く。

2. 委員

番号	所属	役職	氏名
1	徳島大学	教授	田口 太郎
2	(公財)徳島経済研究所	上席研究員	青木 伸太郎
3	日本公認会計士協会四国会	徳島県部会長	真鍋 恵美子
4	海陽町観光協会	副会長	山田 直人
5	海陽町商工会	経営指導員	新居 ひかり
6	海陽町議会	議員	見吉 政貴
7	海陽町議会	議員	島崎 勝弘
8	海陽町	副町長	横 考志

3. スケジュール

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回 (答申)
テーマ	現状と課題の共有	選択肢の整理	評価方法の決定	各選択肢への評価	答申案作成
内容	・「町」や「対象施設」の現状・課題について共有する。	・「サウンディング調査」の結果を共有し、今後のとりうる選択肢について意見交換する。	・各選択肢について、町全体にとって施設の役割・機能や将来像を踏まえた評価方法を定める。	・決定された評価法に基づいて各選択肢を評価する。	・外部委員会として、最良の選択肢が記載された答申案を作成する。